

ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

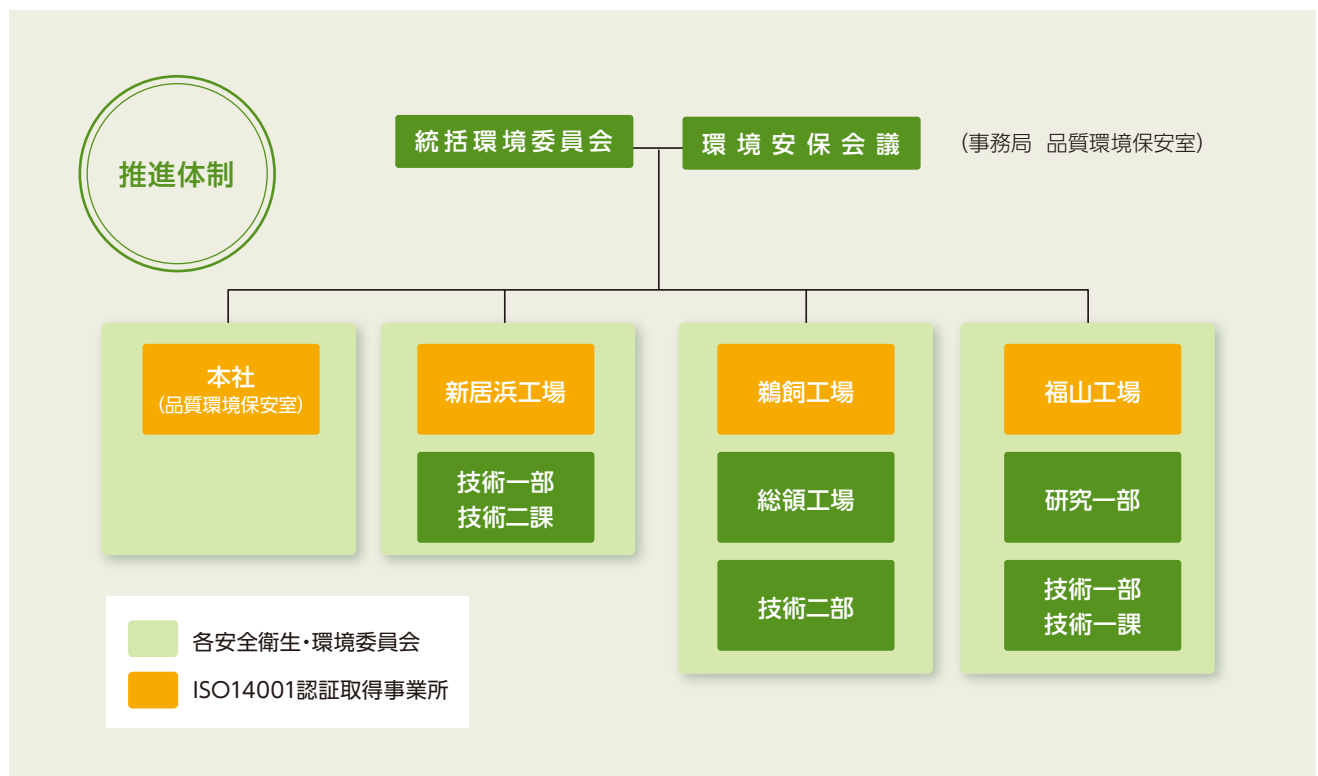
《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



目標達成状況

2016年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2016年度目標	2016年度実績	評価	2017年度目標
環境マネジメントシステム(EMS)の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	3工場の認証更新	○	3工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比5%削減	○	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO2原単位前年度比1%削減	CO2原単位前年度比12%削減	○	CO2原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位増加	×	産業廃棄物排出原単位削減
	廃棄物排出量削減	廃棄物排出量増加	×	廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量前年度比5%削減	○	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業2件	×	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

◎目標を大幅に超えて達成 ○目標を達成 ×目標を達成できなかった



COLUMN

冷水機(チラー)の省エネ(総領工場)

総領工場では、エネルギーの省力化を目的として、2016年度に水冷式冷水機3台をトップランナー基準型の空冷式冷水機4台に更新しました。水冷式に比べメンテナンスが軽減されることと、空冷式でも十分冷却能力があることから空冷式を選択しました。消費電力を年間5.4%削減できる見込みで、順調に稼働しています。



本取り組みは、経済産業省補助金制度「平成27年度補正予算:中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金」に応募し採択され、設備購入費用の一部を補助いただきました。今後とも、社内省エネ案件を発掘し、様々な補助金制度を調査し活用して、省エネルギーの推進に努めていきます。

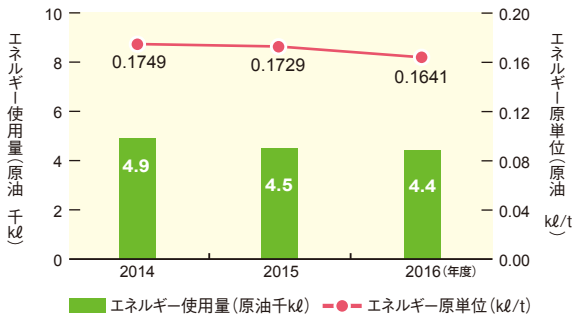
品質環境保安室 環境保安グループ 中橋 学



事業活動における環境配慮への取り組み

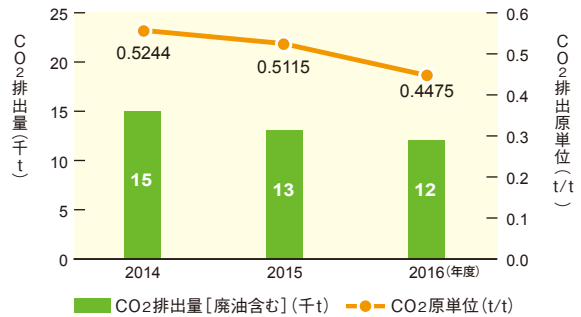
エネルギー使用量

2016年度は生産設備の合理化や原料蒸留残渣のボイラー燃料活用等で使用量が減少し、エネルギー原単位は前年度比5%減少しました。引き続き省エネルギー活動を推進します。



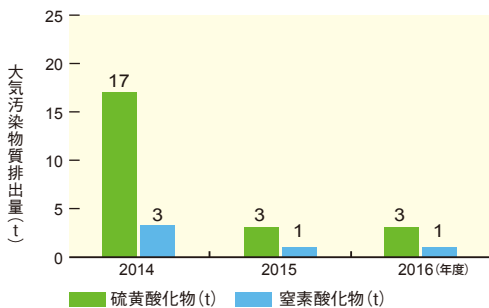
CO₂排出量

2016年度は原料蒸留残渣の活用等による燃料使用量削減により、CO₂排出原単位は前年度比12%減少しました。引き続きCO₂排出削減に努めます。



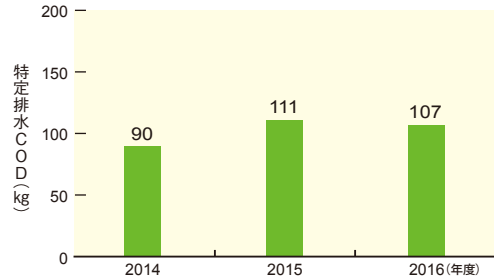
大気汚染物質の排出量

2016年度は2015年度に実施した低硫黄燃料への転換を継続し、硫酸酸化物排出量は横ばいとなっています。引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



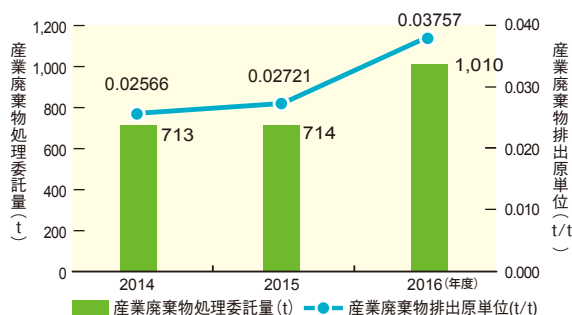
排水負荷物質の排出量

2016年度は生産設備の合理化により、COD負荷量は前年度比4%減少しました。引き続き排水負荷物質の排出削減に努めます。



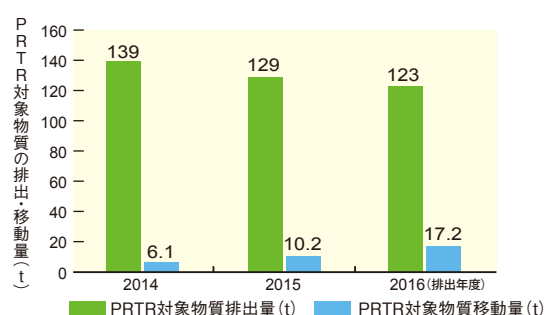
産業廃棄物処理委託量

2016年度は一部製品の生産量増加の影響により産業廃棄物が増加しました。その結果、産業廃棄物排出原単位は前年度比38%の増加となりましたが、引き続き産業廃棄物削減、有価物への転換等に努めます。



PRTR対象物質の排出・移動量

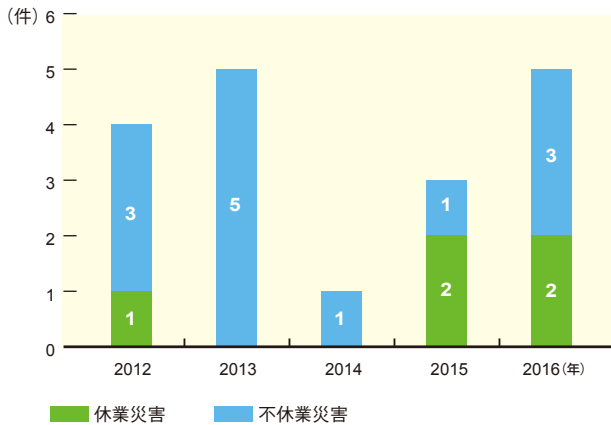
2016年度は生産設備の合理化により、PRTR対象物質排出量は前年度比5%減少しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。



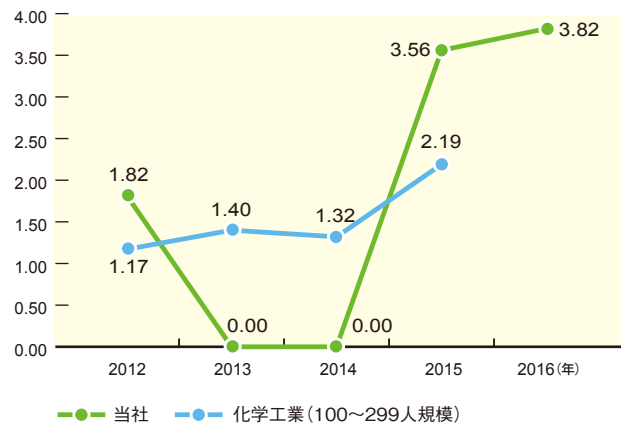
安全衛生への取り組み

ヤハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

労働災害発生件数の推移



休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生頻度を表す。
 ※出典：厚生労働省「平成27年労働災害動向調査（一般産業統計表2）」（平成28年10月13日公表）

安全衛生表彰

永年にわたり安全衛生活動と災害防止活動に努めたことが評価され、次のとおり新居浜工場が関係団体から表彰されました。

表彰日	表彰工場	表彰内容
2016年5月25日	新居浜工場	日本ボイラー協会 優良ボイラー技士

また当社では、職場ごとに労働災害無災害日数の目標を第1種から第10種まで定め、その目標日数に到達した場合、安全表彰を行っています。2016年度中に表彰を受けた職場は表のとおりです。

※第1種達成とは、定められた目標日数の間、無災害の場合をいい、目標日数を超えた場合、その倍数ごとに第2種、第3種と継続する。

達成日	表彰職場	表彰種別
2016年5月13日	新居浜工場製造課	第1種
2016年5月29日	福山工場製造課	第4種
2016年6月4日	福山工場検査課・業務防災課	第3種
2016年9月8日	総領工場	第2種
2016年9月24日	新居浜工場検査課・業務課 技術一部技術二課	第3種
2016年10月13日	本社事務所	第9種
2016年12月6日	川内工場	第3種
2017年1月22日	鶴飼工場製造課・工務担当	第1種

安全衛生・環境に関する資格の有資格者数

当社では、安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	有資格者(名)
	2016年度
公害防止管理者	12
エネルギー管理士	6
衛生管理者	12
特別管理産業廃棄物管理責任者	7
ボイラー技士・整備士	49
危険物取扱者	173
消防設備士	16
高圧ガス製造保安責任者	56